

I am JAPAN

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1日本人を豊かにする

の柱

～経済・産業・移民～

1“集めて配る”より、まず減税

減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”

労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3現場の人が支える日本

製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2日本人を守り抜く

の柱

～食と健康・一次産業・エネルギー～

4食は人の天なり

食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5エネルギーと資源確保が生命線

諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6安心医療で健康国家

過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3日本人を育む

の柱

～教育・人づくり・国家観～

7子ども一人につき月10万円

0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8受験戦争からの解放

偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9日本はみんなの家

日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は参政党

とお書きください。



参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから!



仁科ひろき

プロフィール

佐久市出身、28歳。映像制作に携わる中で伝える力を磨く。停滞する日本を変えるため経済を学び直し、積極財政の必要性を確信した。しがらみのない立場で「消費税廃止」を掲げ、国民の暮らしを守ることを決意。若さと行動力で政治に新しい選択肢を示すべく参政党から国政に挑戦。

受付順位	※	受付年月日	※	年	月	日
		受付者	※			

(※印欄は記載しないこと)

長野県選挙管理委員会